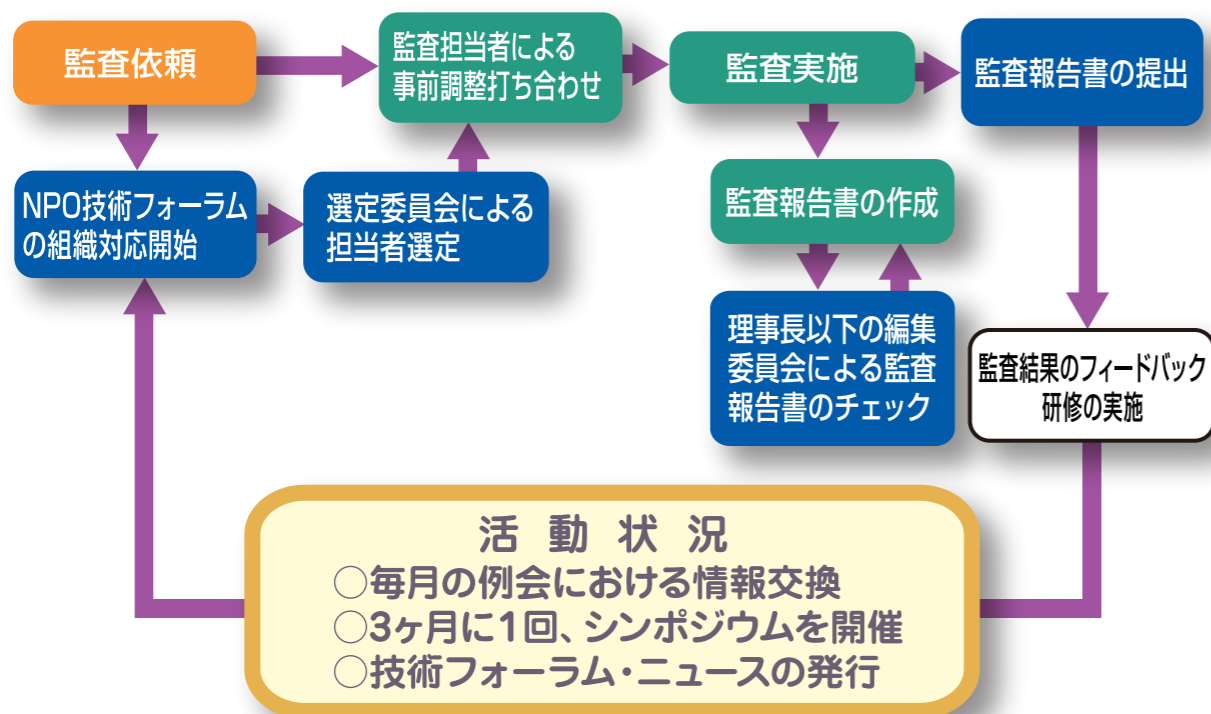


当NPO法人は、組織として技術監査に取り組んでいます。  
報告書は組織としてチェックし、その結果はメンバーにフィードバックされ、常に監査の質の維持向上を目指しています。



建築の種類は、庁舎、教育施設、福祉施設、文化施設、地域施設など様々です。また、新築に加え、耐震改修、廃止施設を新しい施設に用途転換するスーパーリフォームもあります。

対象分野は建築、電気、空調、給排水衛生設備を総合的に調査する場合と、それぞれの単独の分野の場合があります。

調査の段階としては、設計終了後・施工前に実施する場合、工事途中の段階、工事が完了した段階があります。

写真は41階建ての大ホールを有する新市民会館です。



土木構造物の種類は、道路新設、道路舗装、道路のり面補強、橋梁改築、公園工事など様々な分野があります。特に、都市部では道路や公園に関する工事が多くあります。また、最近では構造物の新設だけでなく、既存の土木構造物の更新に関する工事が多くあります。

当NPOでは、それぞれの構造物の分野に精通した土木関連技術士を派遣して、工事調査に当たります。また、工事調査の段階としては、設計段階や工事の段階（施工途中、竣工時）での調査があります。

写真は中央線と車歩道の立体交差です。



### 廃プラ処理システム（地域）

環境分野の対象施設としては、ごみ処理施設、廃プラスチック処理施設、および上下水道施設などがあります。それぞれについて、新設工事や改築工事、または解体工事などの工事監査を行います。

これらのプラントでは土木・建築・機械・電気、上下水道など技術分野が多岐にわたるため、複数の専門家で分担して行う場合と、焦点を絞りその専門家のみで行う場合があります。調査の段階については建築分野や土木分野と同様です。

写真は家庭からの廃棄プラスチックを再利用する為の「プラスチック資源化センター」です。

